



ネットヨタ三重&リーガ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

名張青峰高等学校
ホッケー部
編

みんなと共に成長しながら、まちのスポーツ振興を盛り上げる
**名張青峰高等学校
ホッケー部**



名張青峰高校ホッケー部は、先輩後輩の垣根を超え、何事も相談しやすい雰囲気の中、23人で活動しています。名張市は、日本ホッケー協会の「公式ホッケータウン」に認定。競技の普及や振興に取り組む中、ホッケー部は地元の小中学生チームとも交流しています。



Q1 チームの魅力は？

A1 (奥井さん) 部員

みんなが高校からホッケーを始めたばかりですが、全員で練習を重ね共に成長していることが魅力です。



キャプテン 奥井 ひよりさん (おくい ひより)



(節句田先生) ホッケーというスポーツを楽しむでくれている仲のいいメンバーです。

Q2 キャプテンとして心がけていることは？

A2 (奥井さん) チームの雰囲気

を良くするために、プレー中の声かけを積極的に行い、全体を見渡せるように視野を広く持った行動を心がけています。



Q3 現在の目標は？

A3 (奥井さん) 秋の大会

で初めて全国高校選抜に出場できました。次もインターハイに出場し、いい成績を残すことです。



Q4 チームの強みは？

A4 (奥井さん) 部員同士に壁はなく、みんなでコミュニケーションが

取れ、のびのびと練習ができています。

(節句田先生) 初心者ばかりですが、攻め方、守り方について自分たちでアイデアを出し合って、常に前向きにやっていけるのが強みです。



Q5 今のチームの課題は？

A5 (奥井さん) シュートの精度を上げること

です。



顧問 節句田 悟先生 (せつくだん さとる)

(節句田先生) ドリブルやパスを正確に行うために、スティックを扱うテクニックが必要です。技術的なレベルを上げ、得点を決め、ボールを有利に進めることが今の課題です。

二次元コードを読み取るとホッケー部のコメントが見られます。



Q6 どんなことを意識して練習していますか？

A6 (節句田先生) うまくいく方法よりも、どうして失敗するのか、それをどうやって修正していくかをメ

ニューに取り入れています。ホッケーのボールはスピードがあり、次の判断に迷っているとあっという間に攻め込まれてしまいますので、相手を迷わせるような攻め方を体感できるよう練習しています。



Q7 部活動を通して取り組んでいきたいことは？

A7 (節句田先生) 一つはホッケーというスポーツを好きでいてくれること。また

11人で戦うチームスポーツなので、みなで協力して目標に向かって取り組むことの大切さを学び、この経験が社会に出て生かされたと思える部活にして欲しいです。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!